

医療用品 (4) 整形用品
高度管理医療機器 人工股関節寛骨臼コンポーネント(35661000)
MectaCer BIOLOX delta セラミックライナー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者)における事項

- 急性又は慢性、播種性又は局所性感染症[感染巣の転位や敗血症等を併発する恐れがある。]
- 骨格未成熟、骨の奇形、軸位置の変位、その他の骨疾患及び併存症[骨格形成不全やインプラントの機能に支障を来す恐れがある。]
- 重篤な筋肉、神経、血管系の欠損症やその他病理学的な病態によりインプラントの機能に支障を来す疾患[症状を悪化させる恐れがある。]
- 精神的又は神経筋的な疾患[術後フォローアップを含めて医師の指示に従うことが困難になり、術後合併症の原因となる恐れがある。]
- インプラントに過度の荷重がかかることが想定される場合(肥満症、過体重、肉体的重労働、激しいスポーツ活動、高い活動性、落下の可能性、アルコール依存症又は薬物嗜癖、影響を与えうる身体上又は精神上のその他の障害)[インプラントの設置不良、又は破損の恐れがある。]
- 進行性の骨粗鬆症、骨軟化症、支持骨における腫瘍[インプラントを支持するための十分な骨量が得られず、適切に固定されない恐れがある。]
- 代謝障害や全身性疾患(例えば、糖尿病やステロイド又は免疫抑制剤などの薬物療法)[骨の支持性を徐々に喪失し、緩みにつながる恐れがある。]
- 重篤な骨構造の損傷又は変形[インプラントが適切に固定されない恐れがある。]
- 患肢以外の関節に係る機能不全[患肢の治療を妨げる恐れがある。]
- 骨切り術の整備等、股関節疾患の治療に関して再建的介入の可能性がある場合[リスク/ベネフィット再検討の必要性がある。]
- 本品の原材料に対する過敏症並びにその兆候

2. 併用医療機器における事項

- 弊社指定製品以外と併用しないこと。
[「相互作用」の項を参照のこと。]

3. 使用方法における事項

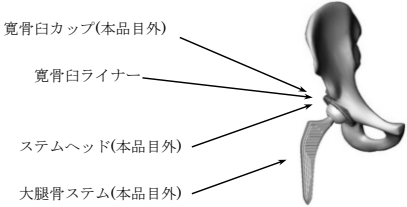
- 再使用、再滅菌しないこと。
[本品の各構成成分について損傷が無いように見えても微細な損傷や内部応力を有し、早期破損などの予期せぬ不具合並びに有害事象を生じる可能性がある。]

*【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本添付文書に掲載の製品名に該当する製品番号、サイズ等については、包装表示ラベル又は製品自体に記載されていますので、ご確認下さい。

外観形状	原材料
	ジルコニア強化 アルミナセラミックス



2. 原理

寛骨臼カップと寛骨臼ライナーを組合せることで形成される寛骨臼コンポーネントは、大腿骨ステムとステムヘッドを組合せることで形成される大腿骨コンポーネントとともに人工股関節形成し、ステムヘッドが寛骨臼ライナーの内面を摺動することにより、股関節の機能を代替する。

【使用目的又は効果】

本品は、人工股関節置換術(再置換術も含む。)の際に、股関節の機能を代替するために骨盤側に使用する寛骨臼カップと組合せて使用する寛骨臼ライナーである。

**【使用方法等】

- 本品は滅菌品であり、再使用しないこと。
- 本品と併用する寛骨臼カップ及びステムヘッドは、本品のサイズ表記における径と一致するものを使用すること。
- 本品と直接組合せて使用する品目は、以下のとおりである。

構成成分	販売名	承認番号
寛骨臼カップ	Mpact 寛骨臼コンポーネント	22500BZX00441000
ステムヘッド	MectaCer BIOLOX delta セラミックヘッド	22700BZX00331000

- 本品と併用する手術器械(届出品)は、弊社指定の専用品を使用すること。

【標準的な使用方法】

- 股関節の皮切を行う。
- 臼蓋側における使用方法
①残存している関節包や骨棘を切除して臼蓋を露出した後、リーマー(専用品)により臼蓋窩をリーミングすることで、寛骨臼カップ(本品目外)の設置母床を作成する。(図 1)



(図 1)

- ②トライアルカップ(専用品)により、リーミング後の臼蓋窩との接触状態を確認する。(図 2)



(図 2)

- ③カップインパクター(専用品)とアライメントガイド(専用品)を用いて、設置角度を確認した上で、寛骨臼カップ(本品目外)を臼蓋窩へ設置する。(図 3)

手術手技書をご参照ください。



(図 3)

- ④トライアルライナー(専用品)により試整復を行い、脚長、設置位置、股関節機能及び安定性を確認する。
- ⑤トライアルライナー(専用品)を取り外し、寛骨臼カップ(本品目外)をすすいで乾燥させ、寛骨臼ライナーの設置場所に骨や組織片が残っていないことを確認する。
- ⑥寛骨臼ライナーを二本の指でつかみ、寛骨臼カップ(本品目外)に挿入する。指先が寛骨臼カップ(本品目外)に接触したら、スライドさせて挿入する。
- ⑦寛骨臼カップ(本品目外)と寛骨臼ライナーが同一平面上になるように位置させ、寛骨臼ライナーが正しい位置に来たら親指でしっかりと押し込み、最後はインパクト(専用品)を用いて固定する。

3. 大腿骨側における使用方法

本品と組合せて使用するステムヘッド及び大腿骨ステムの使用方に準じて、大腿骨側材料を設置する。

4. 各インプラントを設置後、再度、試整復を行い、脚長、設置位置、股関節機能及び安定性を確認した後、閉創する。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 本品は滅菌済み供給製品であるため、滅菌包装に損傷等の異常がないことを確認すると共に、損傷並びに破損しないよう取扱いに注意を払い、損傷等の異常を認める際は使用しないこと。また、外箱の表示における有効期限を確認の上使用すること。
- 寛骨臼カップの設置角は可動域や脱臼リスクに影響し、垂直過ぎると端の応力が増して摩耗や裂傷が増えるため、Lewinnek のセーフティゾーン内に設置すること。
- 寛骨臼コンポーネントの傾斜角は 40～45 度、前捻角は 10～20 度の範囲内に設置しなければならない。この範囲外では、可動域に制限が生じ、ステムヘッドが亜脱臼又は脱臼する恐れがある。
- 埋植されるインプラント用の適切な手術器械によりインプラント設置母床が準備されていることを確保すること。
- インプラント埋植時並びにインプラント設置のためのリーミング時に骨折や臼蓋穿孔を引き起こす可能性があるため、細心の注意を払うこと。
- インプラント設置母床に骨折が生じた場合はインプラント固定に重大な影響を及ぼすので、術中及び術後に適切な措置を講じること。
- セラミックコンポーネントが破損した場合、セラミック粒子をすべて取り除かなければならない。
- 本品のサイズ選択は術前計画に従った骨切除後に最終的に用意されたトライアル用の手術器械を用いて決定すること。
- トライアル用の手術器械を埋植しないこと。また、トライアル用の手術器械を改良・改造しないこと。
- 酸化アルミニウム製のセラミックはγ線照射により変色することがあるが、性能等には影響しない。
- 骨セメント粒子並びに摺動面に存在する骨片は、人工股関節における異常な摩耗原因となるため、閉創前に露出した骨セメントと残留骨を全て除去すること。
- 寛骨臼ライナーを設置する前に寛骨臼カップ側のテーパー部と寛骨臼ライナー側のテーパー部、並びに寛骨臼ライナーとステムヘッドの摺動面側に、傷、異物等の付着が無いことを確認の上、使用前に洗浄、乾燥すること。
- 再置換症例では、切開、残存骨の切除、骨セメントの除去、各コンポーネントの設置及び固定、適切な支持骨の特定を困難にする可能性があるため、術時間の延長、血液喪失、感染症の発生、塞栓症や血腫等のリスクが増加することに留意の上使用すること。

- 術前の状態が不明確な場合、とりわけ他のインプラントが埋植されている場合において、当該インプラント製造業者より情報が得られていること。

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

術前並びに術中における本品の取り扱いが関節置換術の成果に影響を及ぼすため、以下の内容にご留意ください。

(1) 適用対象(患者)における事項

- 適切な患者選定並びに患者のコンプライアンス意識は術後結果に影響することに留意すること。
また、手術手順並びに人工股関節について患者と検討すると共に、合併症予防のため、患者の活動レベルや患者体重等のインプラントの性能及び安全性を制限しうる要因、本手術での機能限界並びに選択したインプラントによる制限について考慮し医師による術後の指示に従う必要性について検討すること。
- 適用対象の選定は本品の配置並びに位置決めと同様に重要であるため慎重に行うと共に、手術に際して、使用予定の前後サイズを含めて十分な数量を用意しておくこと。
- 本品の原材料に対する過敏症の疑いがある場合は、術前に本品使用の是非のためのアレルギーテストを行うこと。
- 肥満症などの過体重もしくは不適切な機能的要求により本品に予期せぬ応力が生じる可能性があり、本品の耐用期間を短縮する可能性があることに留意すること。

(2) 併用医療機器における事項

- 本添付文書の記載事項に加え、本品と併用する医療機器の使用上の注意に留意すること。

(3) その他の留意事項

- 必要に応じ、本添付文書記載事項について患者へ適切に情報提供すること。
- 本品は本添付文書及び/又は手術手技書に記載された目的並びに方法以外で使用しないこと。
- 本品の適用範囲、埋植のための手術器械の適切な使用、並びに手術手技に係る利用可能な全ての情報を入手し、術者及び手術チームが精通していること。
製品情報や X 線テンプレート並びに使用方法に係るより詳細な情報を必要とする際は、弊社営業担当へご連絡ください。
- 手術手技、適切なインプラントの選択並びに配置を術前計画において配慮の上、本品使用に対する妥当性を十分検討すること。
- 患者に対して活動制限や置換した股関節に過度な負荷が生じないように注意を促すと共に、運動、治療、活動制限についても注意を促すこと。
- また、インプラントの CT 又は MR の画像診断に係る影響性を説明すること。
- 非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。【自己認証による】
-静磁場強度：3.0T
-静磁場強度の勾配：114T/m 以下
-MR 装置が示す全身最大 SAR：2.2W/kg(通常操作モード)
上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は約 1.3℃以下である。
本品が 3T の MR 装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から約 82.6mm である。
- 術後後との比較、インプラントの変位やルースニング等を予防するため、定期的なフォローアップ及び X 線診断を推奨します。過度の肉体的活動、患肢の外傷は、インプラントの変形、破損、摩耗による本置換術に対する早期の不具合を引き起こす可能性があるため、このような場合は患者を医師の管理下に置き、悪化の進行度や早期再置換術の必要性評価を適切に行うこと。

2. 相互作用

[併用禁忌](併用しないこと)

医療機器 の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
弊社指定 製品以外	製品仕様の相違により、不安定性を増大させる恐れがある。	異なる規格の製品の組み合わせにより不安定な状態を導く。

3. 不具合・有害事象

本品を用いた関節置換術により、以下のような不具合・有害事象を生じる可能性があることに留意してください。

本品の使用において機能不良等の不具合並びに使用者に健康被害を与える有害事象を認知した際、品質、有効性及び安全性に係る苦情が生じた際は、直ちに弊社営業担当へ当該内容をお知らせ下さい。

その際、該当する製品名、製品番号、並びにロット番号をお知らせの上、可能な限り該当製品を併せてご返送下さい。

(1) 重大な不具合・有害事象**[重大な不具合]**

- ・インプラントの転位
- ・ルースニング
- ・疲労破損
- ・摩耗

[重大な有害事象]

- ・静脈血栓症、肺動脈閉塞、塞栓症及び心停止を含む心血管系疾患
- ・二次的感染
- ・神経障害、手術外傷による神経下病変
- ・泌尿器合併症
- ・疼痛

(2) その他の不具合・有害事象

本品を用いた関節置換術により、(1)重大な不具合・有害事象以外に以下のような不具合・有害事象を生じる可能性があることに留意してください。

[その他の有害事象]

以下の有害事象は、人工股関節置換術を施術された患者に稀に発現することがあるので、認められたら直ちに適切な処置を施してください。

- ・関節脱臼及び亜脱臼、患肢と同側又は対側の膝関節及び足関節に対する損傷、及び疼痛[可動域の制約、脚長差、大腿部の変位、筋欠損症により生じることがある。]
- ・患肢と同側の膝関節における外傷性関節炎
- ・インプラントの原材料に対する組織反応
- ・腸骨、閉鎖筋、及び大腿動脈等の血管損傷
- ・一時的ないし恒久的神経損傷(大腿部、閉鎖筋又は坐骨神経)
- ・肺炎、肺拡張不全
- ・血腫、遷延治癒等の治癒障害
- ・原発的感染
- ・関節痛、及び運動制限[関節周囲の石灰化や骨化により生じることがある。]
- ・大腿骨又は臼蓋骨折[重症の骨粗鬆症による骨量の低下や術中のリーミング、骨吸収等の骨欠損により生じることがある。]
- ・転子剥離[過度の筋緊張及び/又は過荷重により生じることがある。]
- ・癒合不全
- ・関節炎、骨化性筋炎
- ・裂創傷の裂開
- ・骨溶解
- ・異所骨形成
- ・血管狭窄

【保管方法及び有効期間等】**1. 保管方法**

高温、多湿、直射日光を避け、室内保管

2. 有効期間

外箱の表示を参照

[自己認証による]

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 メダクタジャパン株式会社
 連絡先 TEL : 03-6272-8797(代表)
 製造業者 メダクタ インターナショナル エスエー
 MEDACTA International SA
 スイス

